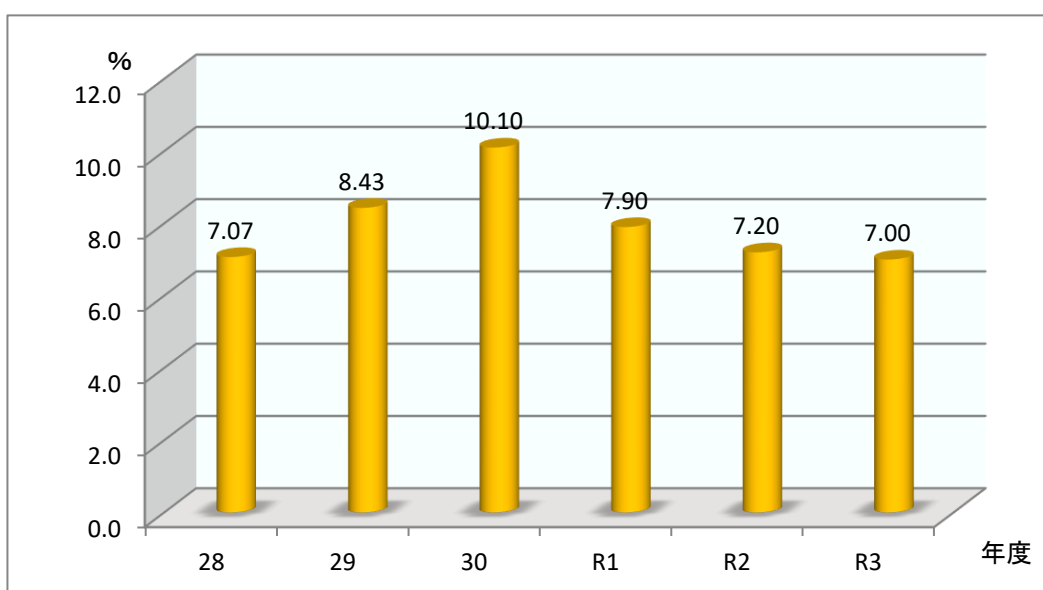


25 CPC(臨床病理検討会)の検討症例率

解説

CPC(臨床病理検討会)とは臨床医・病理医・検査担当医などが、診断や診療のプロセスの妥当性を討論する症例検討会であり、一般的には剖検(病理解剖)が行われた症例を対象とします。診療行為を見直し、今後の治療に役立てる取り組みを評価する指標です。医学生、研修生の教育にも大いに寄与するものです。

実績



自己点検評価

病理解剖の後は、患者さんに関与した全ての臨床医および病理医が集まったの検討会であるCPCで医療の検証を行うことで貴重な症例を将来の医療に生かすことができます。今後はさらに病理解剖やCPCに力をいれ、より質の高い医療を目指すとともに病理解剖させて頂いた患者さんやご承諾頂いたご家族のかたのご意志に報いるため、CPCの成果を後の医療に生かす努力を続けます。

定義

対象年度1年間のCPC(臨床病理検討会)のCPC件数を死亡患者数で除した割合(%)。自院での死亡退院を対象とします。ただし、学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例は検討症例数に含めます。

算式

分子:CPC件数。
分母:死亡患者数。